

U 協 近 畿 通 心 ～ U 協 を 使 い 倒 し ま し ょ う ～

【撮影】ご来光！薩摩富士 開聞岳

岳と高山植物を撮る、山岳カメラマン！絶景ハンター 外西 敬二さん

【年頭のごあいさつ】

新年、あけましておめでとうございます。

近畿事業推進部の川畑です。

皆さま、よいお年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年漢字は「戦」でした。昨年2月に始まったロシアのウクライナ進攻。世界が驚愕し、いまだに続いていますね。

本当に悲しい事です。早く終息して平和が来て欲しいです。

エネルギー不足、食糧不足と世界中が影響を受けて、インフレが激しいですね。日本では約32年ぶりに超ドル高円安と経済も打撃を受けました。そんな中、新型コロナも第八波が襲ってきています。こちら終息が見えませんが、Withコロナになってきましたね。

ある意味、上手に付き合っていくしかないのでしょうか。皆さん、気をつけてください。

さて私達は、「**会員様にとって魅力ある協会活動**」、「**会員拡大**」といった二つのレンズに照らして業務を進めています。今年もここはぶれずに業務に邁進して参ります。

昨年もいろんなことにチャレンジしました。うまくいったこと、まだまだ工夫が必要なことなど多々ありますが、今年も諦めず着実に前進していきます。

今年やってみたいことは、6ページに書きましたのでご覧ください。

【新年、西宮の廣田神社と若宮神社でこんなことを祈願しています。3蜜を避けて。】

- **ウクライナ進攻が少しでも早く終息して平和が訪れますように！**
- **Withコロナでも世の中に貢献できる協会活動がさらに進化できますように！**
- **さらに会員様や世の中のお役に立つ協会になれますように！**

私の願いです。

今年は、電話対応コンクール全国大会が10月に札幌で開催されます。2021年度開催予定でしたが、コロナの感染拡大の影響で今年に延期になりました。今年は、皆さんと一緒に札幌へ応援に行きたいですね。今年も当協会の活動へのご理解ご協力のほど、よろしくお願いたします。今年こそは新型コロナが収束し、皆様の会社が益々繁栄、そして世の中が平穏で素敵な1年でありますように祈念します。

今年も「U協近畿通心」を愉しんで頂けると幸いです。



西宮廣田神社の今年の絵馬です。
毎年立派な絵馬が奉納されます。
今年は光がさして縁起がいいです。

先月は「第99回「叱ってくれる人がいない」（2022.6.15）をご紹介しました。いかがだったでしょうか。今回は第100回「伝わってこそ言葉」をご紹介します。

「**伝わってこそ言葉なんだよ！**」入局間もない頃、先輩アナウンサーに言われたこの一言。

当時は何のインパクトを感じることもなく、いつしか忘れていました。「当たり前じゃないか」ぐらいにしか考えていなかったのでしょうか。爾来半世紀（じらいはんせいき）、この言葉が突然忘却の彼方から蘇ってきたのです。それも妙に懐かしく、そして大事な言葉として。

伝わらなくなった言葉たち

テレビやインターネット、新聞、雑誌、書籍を通じて、私たちの回りには膨大な量の情報が溢れています。時代とともに情報が多様化し、言葉そのものが煩雑になっています。情報の多さもさることながら、通信機器の複雑さ、専門語やカタカナ語の多さ、中でもIT関連用語がむき出しで多用されていること。また、次々と生まれる省略語や造語、流行語が、多様なメディアを通じて野放図に広がっています。それらが日本語に落ち着きを失くし、伝わりにくい言葉にしているのです。さらには、言葉を磨くという感覚が希薄になり、難しい言葉を、整理せずにストレートに書いたり話したりするので、ますます分かりにくくなりました。

『**難しいことを易しく書く。易しいことを深く書く。深いことを愉快地に書く。愉快なことを真面目に書く**』これは私が敬愛する井上ひさしさんの名言です。今、私たちの回りには、難しいことを易しくではなく、易しいことを難しく書いたり話したりする人が多過ぎます。分かっていない人ほどその傾向が顕著なのです。

問題が多い音声表現力

話し言葉が伝わりにくくなっている現状は随所に見られます。政治家の演説や説明、教壇に立つ先生たち、著名人のスピーチやプレゼンテーション、談話など。もちろん中には見事に話す人もいますし、意図的に難しくする場合もあるでしょう。しかし、概してテレビなどで見聞きする話し方には、問題が多く、すっきりとは伝わってこないのです。原稿を抱えた平板な棒読み、単調なリズム、意味に関係ない切り方、「間」がほとんどない口早な話し方。中でも許せないのは、言葉をもって生業としている人の中に、語尾伸びしなどの話し癖のある人がかなりいることです。

日本中に蔓延し定着してしまった「語尾伸びぶつ切り※」の話し癖を、これから矯正することは至難の業かも知れません。しかし、テレビなどでの露出度の多い著名人には、その影響の大きさをぜひ考えてほしいと願います。

スキルだけでは伝わらない

書店のビジネス本のコーナーには、「上手な話し方」「営業で勝つ話し方」「感動させるスピーチ術」など話し方の指南書が並んでいます。本誌のこの連載の中でも、これまでさまざまな話し方のスキルやノウハウをご紹介してきました。しかし、それらのスキルを身につけて話したとしても、決して伝わる話し方になるとは限らないのです。そう言っても身も蓋もありませんが、**伝わる話し方とは、上手な話し方やきれいな話し方、正しい敬語の使い方などとは違うのです。**

以前にもご紹介しましたが、イギリスの名門オックスフォード大学では、新入生に最上級生が話し方を教えます。そのポイントは、流暢に話してはいけない。訥々（とつとつ）と話しなさい、ということだそうです。つまり**会話は話し手だけが上手に話しても伝わらない。**

常に両者の共同作業なのだとは私は理解しています。私たちが普段耳にする言葉の多くは、話してはいても伝えていないのです。その点をクリアしている見事な会話例を一つご紹介しましょう。

子ども科学電話相談に学ぶ

NHKのラジオ第一放送で、毎週日曜日の午前10時05分から、「子ども科学電話相談」という番組があります。「恐竜をペットにするには？」「宇宙人は悪者なの？」など、全国の小中学生が電話で訊いてくる素朴な疑問に、ジャンル別に専門家の先生が答えるのです。これが実に良いのです。

子どもは自分の疑問を懸命に言葉で伝えます。回答者の先生は、子どもがなぜそうした疑問を持ったのか、一番知りたいことは何なのかを熱心に探ります。そして子どもの理解を細やかに確認しながら説明します。そのやり取りの呼吸が見事に伝わってくるのです。

子どもも先生も、まさに「**伝わったかどうか**」の世界で会話をしているのです。私たちが普段しているビジネス会話も日常会話も、そこまでの意識はないでしょう。言葉を磨くと言いますと、私たちは、正しく美しくきれいにという価値判断にこだわりがちです。そこを「**伝わってこそ言葉**」に意識を変えた時に、**会話する力は大きく変わるでしょう。**

※ 語尾伸びぶつ切り：「語尾伸び」は「ですっ」など言葉の最後の語尾を伸ばすこと。「ぶつ切り」は相手の話を遮って自分の話をしたり、話題を急に変えたりすること。

【ユーザ協会の得意技！ 人生100年時代をICTで支えるデジタルヘルス】

前回は、スマホアプリを活用したSociety5.0時代の医療の実現（2022.07.15）をご紹介しました。今回はデジタルヘルスによる医療の変革とユビキタス化をご紹介します。



デジタルヘルスによる医療の変革が起きようとしています。

IoTの医療版である**Internet of Medical Things (IoMT)** ※1を用いたデータの収集や、医療ビッグデータ、人工知能(AI)などが医療現場に普及することで、**飛躍的とも言えるイノベーションが起こりつつあるのです**。このように、デジタル技術を活用して医療行為や診療サポート行為を行うデジタルヘルスは、**医療を大きく変革させる可能性を持ちます**。

第3回の今回は、デジタルヘルスによる医療の改革と、メタバース※2を用いたこれからの医療の可能性について解説します。

第4次産業革命における医療の変革

今、世界中で「第4次産業革命」と言われる大きな波が動き始めています。

この動きは、科学技術により社会が少しずつ進歩していくのではなく、「飛躍的に大進歩」を遂げるものになります。歴史を振り返ると、技術革新によって産業構造が一変するたびに、さまざまな分野のサービス・財の提供者が戦略の転換を迫られてきました。

医療分野も決して例外ではなく、ヘルスケア業界におけるすべてを巻き込んだ「産業革命」の波が、私たちの日常にも影響を及ぼし始めています。

産業革命とは、大まかに言ってしまうと「技術によって人や社会に大きな変化をもたらす出来事」です。第1次産業革命では、18世紀半ばにイギリスで蒸気機関が発明され、手で作業していた工場の仕事は機械が担うようになり、蒸気による動力が獲得されました。

20世紀初頭の第2次産業革命では、シンシナティで初のコンベヤーが登場し、電力を活用した大量生産の皮切りとなりました。第3次産業革命では、PLC (Programmable Logic Controller) ※3による生産工程の自動化が行われるようになりました。

これに対して、**第4次産業革命では、インターネットやデジタル革命により、バーチャル空間とフィジカル空間の融合が可能になり、これまでと全く違った生産方法が実現できる**と言われています。一方で、医療を取り巻く現状を見てみると、医療費の高騰、超高齢化社会※4、COVID-19 (新型コロナウイルス感染症) の感染拡大、それに伴う全体的な労働力の不足などのさまざまな問題が顕在化しています。

また、2018年6月29日に成立した働き方改革法案は、医療においては5年間の猶予が与えられ、2024年4月から「医師の働き方改革」として適用される予定です。しかし、医師の労働時間短縮に向けた課題は山積みで、ICTを用いた効率化や業務改善の必要性が高まっています。

※1 IoMT: Internet of Medical Thingsの略で、医療機器とヘルスケアのITシステムをオンラインのコンピューターネットワークを通じてつなぐという概念。

※2 メタバース: インターネットを介して利用する仮想空間のこと。

※3 PLC: 主に製造業の装置などの制御に使われるコントローラーのこと。

※4 超高齢化社会: 高齢社会が進行し、65歳以上の高齢者の割合が「人口の21%」を超えた社会のこと。

そんな状況の中、医療の現場ではデジタル技術の活用が進み、IoTを用いたデータ収集、医療ビッグデータ、AIなどによるイノベーションが、医療の現場でもあつという間に進むと考えられています。

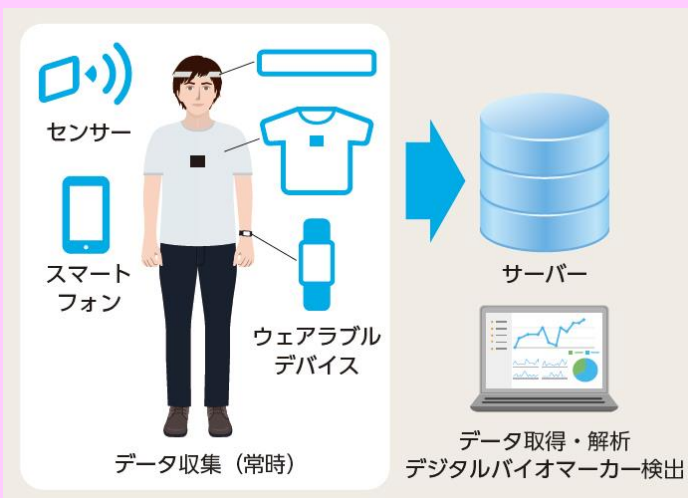
デジタルヘルスによる医療の変革とユビキタス ※5

改めて説明しますが、**デジタルヘルスとは**、AIやチャットボット※6、IoT、ウェアラブルデバイス※7、ビッグデータ解析、仮想現実（VR）などの**最新のデジタル技術を活用した、医療行為や診療サポート行為**を指します。

COVID-19の感染拡大も、デジタルヘルスの広がりを加速する契機になりました。

例えば、IoTやウェアラブルデバイスから日常の生体情報を収集し、病気の診断、病気の発症予測や状態把握・管理に利用するためのデジタルバイオマーカー※8の探索が加速しています（下図参照）。

特に、8月号で紹介したスマホやタブレット端末などを利用したモバイルヘルスは、さまざまな生体情報を測定することが可能です。例えば、体温、脈拍数、血中酸素飽和度、歩数、心電図、睡眠時間や睡眠時の体動データなどが収集可能です。



【図：IoTやウェアラブルデバイスで収集した日常情報によるデジタルバイオマーカーの探索】

これらモバイルヘルス活用をはじめとしたデジタルヘルスは、我々の日常生活圏におけるデータを常時収集することから、**インビジブルメディシン（目に見えない医療）**とも呼ばれています。

このような技術により、我々はわざわざ病院に行かなくとも、遠隔診療や遠隔モニタリングを受けることで、いつでもどこでも医療にアクセスすることが可能となり、自分の生活圏を中心として、**医療をユビキタス化**をすることができるようになります。

医療をユビキタス化することができれば、私たちは通院コストの削減や個別データ収集など精密な医療による診療効率の向上、そして予防医療といったメリットを享受することができます。

メタバースの医療への応用

メタバースとは、コンピューターやネットワークの中に構築された、3次元の仮想空間やそのサービスを指します。このメタバースが今、医療の領域にも使われようとしています。

例えば、私の所属する順天堂大学は、2022年4月に日本IBM株式会社と順天堂医院のメタバース「順天堂バーチャルホスピタル」の設立を発表しています。

メタバース空間では、現実と近いコミュニケーションを行える可能性があります。

例えば、メタバース空間にいる自分のアバター※9を通じて、担当医師に病状の説明を受けることができます。

他にも、自分のアバターを併用してリハビリテーションに利用することも検討されています。

この場合、テレビ電話と何が違うのかと考える方もいると思いますが、メタバース空間では**VR（仮想現実）やAR（拡張現実）などの技術を利用**することで、**その場に自分がいるようなリアルな感覚を得ることが**できる点が大きく異なります。

また、病院側は、例えば院内の診察室やオフィスをメタバース空間に移すことで、**病院内の空いたスペースに手術室や処置室を多く配置し、収益率の高い病院構造を構築できる**といったメリットがあります。

※5 ユビキタス：ICT用語としては、コンピューターやネットワークが身の回りに遍在し、使いたい時に場所を選ばずに利用できることを表す。

※6 チャットボット：自動的に会話を行うプログラム。

※7 ウェアラブルデバイス：手首や腕、頭などに装着するコンピューターデバイス。

※8 デジタルバイオマーカー：スマホなどのデジタル機器から得られる生体データを収集して、病気の有無や治療による変化を客観的に可視化する指標。

※9 アバター：インターネット上で自分の分身として使われるキャラクターのこと。

【ユーザ協会の得意技！ 人生100年時代をICTで支えるデジタルヘルス（続き）】

他にも、これまでは実現できなかった患者交流の場としての活用も期待されます。例えば、癌や患者数が極めて少ない病気の患者さんの交流による多面的な情報収集やソーシャルキャピタル※10の醸成に貢献できる可能性があります。

メタバース空間ではアバターとして交流するため、これまで対面では相談することに気が引けるような内容でも、メタバース空間上では少し大胆に共有できるかもしれません。

また、メタバースは教育支援にも有用です。COVID-19により医学生の対面実習の機会が減っています。

しかし、**メタバース空間やVR技術を応用することで、例えば採血などの手技や手術の練習をリスクなく行うことができます。**

このように、メタバースはヘルスケア領域でも応用が模索されています。メタバースにより、患者や家族、医療者、医療機関がネットワークでつながり、医療のユビキタス化に貢献するものと考えられます。そして、デジタルヘルスは今まで以上に我々の日常生活圏において身近なものになろうとしています。

デジタルヘルスやメタバースなどの技術は、我々の生活にリアルとバーチャルの融合を起こし、私たちの医療をさらに効果的で効率的にしてくれる可能性があります。

※10 ソーシャルキャピタル：人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることのできる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴。

【ICT用語豆知識 5G（5th Generation）をご存じでしょうか】

5G（5th Generation）は「**第5世代移動通信システム**」のことで、携帯電話などで使われるモバイル通信規格の第5世代を表す言葉です。

コンテンツの多様化、IoTの進展により増加し続ける通信量の増加に対応するため、移動通信システムはおよそ10年ごとに進化を続けています。

5Gでは、4Gからさらに**高速化**させるだけでなく「**超低遅延**」「**多数同時接続**」も含めた3つの特徴を持ちIoT時代の基盤となるべく進められています。

日本では2015年度から5G実現に向けて要素技術の研究開発に取り組んできました。

2020年3月から、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクの3社が5Gの商用サービスを開始しています。アメリカ、韓国は2018年に商用化しています。各社は利用可能エリアの拡大や高速化を図りながら、5Gへの移行を進めています。

5Gの特徴の一つは、4Gをさらに発展させた最大10Gbpsという「**超高速**」伝送速度を提供しています。

他にもロボットなどのリアルタイム操作を実現する、遅延時間1ミリ秒程度という「**超低遅延**」。

100万台/km²という膨大な数のセンサーや端末がつながる「**多数同時接続**」、という新たな特徴が加わりました。

2030年代には5Gの次の世代である、「Beyond 5G（6G）」の導入が見込まれています。

Beyond 5Gと言っているのは、6Gの規格等がまだ決まっていないためです。

総務省では、2030年代の社会において通信インフラへ期待される事項や、Beyond 5G実現に向けて政策の方向性についての検討を進めています。

5Gの導入を競う背景には、**社会・産業・安全保障などで抱える諸問題を解決する狙い**がありますが、日本は出遅れてしまいました。

5G通信により新たなサービスやビジネスチャンスが創造され、世界の5G市場は最大1,336兆円に拡大すると言われてしています。

でも5Gの特許は、中国、韓国が60%を占めていて日本は8.8%なのです。Beyond 5G（6G）でも中国、アメリカが75%を占めていて日本は9.9%なのです。日本どうしてこうなったのかは、またの機会にお話しします。

経営者が5Gを活用したビジネスを構想し自社のビジネスを変革するためには、小さくともまずは実際に動いてみる事が大切と大前さんも昨年11月の向研会で講演されていました。**ローカル5G**はまだチャンスが残されています。貴社でも利用を検討されたいかがでしょうか。

【お役立ち情報：今年2023年にやってみたいこと】

昨年は、「**もしも検定3級、4級チャレンジ問題**」に**3,700名余の参加**「**大前さんに学ぼう**」に**毎回1,000名を超えるお申込み**を頂き、お役に立てたのではと感じています。

半面「**DXへの一歩前進**」は思ったようには進みませんでした。まだまだ、会員様にも十分に情報が届いていないことやブラッシュアップの必要性を改めて感じた1年でした。

やれる事、やりたい事がまだまだ沢山あります。

今年もこんなことに**トライ**していきたいと、新年にあたって考えています。

黄色網掛けは特に力を入れていきます。

1、電話対応による企業様のCS向上支援

→**もっと多くの企業様に知って欲しい、使って欲しい**

①自社の実力を確認して頂きたい → CS向上初めの一歩

- もしも検定3級、4級チャレンジ問題を事業所単位で使ってもらおう **(無料)**
- 電話対応診断を使ってもらおう **(会員割引あり)**
- もしも検定4級にまずチャレンジしてもらおう **(有料)**

②ユーザ協会を使って、電話対応で培ったビジネスマナースキルを上げて頂きたい

- 集合型研修に参加してもらおう **(会員割引あり)**
 - ・新入社員研修 ・ビジネスマナー研修 ・ボイストレーニング研修
 - ・電話対応フォローアップ研修・採用内定者ビジネスマナー研修
 - ・クレーム対応研修 ・Eメール作成実践講座 ・高齢者対応研修
 - ・即応力向上研修 ・コミュニケーション能力向上研修
- オンライン研修に参加してもらおう **(会員割引あり)**
 - ・電話対応トレーニング【個別指導 電話対応コンクール編】
 - ・Eメール書き方講座（基礎編、応用）・オンライン営業（基礎編、応用編）
 - ・電話対応トレーニング【個別指導 もしも検定3級実技編】
 - ・オンライン時おけるビジネスマナー（好印象を持ってもらうためには）
 - ・聴く力、訊きだす力、要約して伝える力
- 電話対応コンクールへチャレンジしてもらおう **(会員無料)**
- 企業電話対応コンテストへチャレンジしてもらおう **(会員割引あり)**

2、ICT利用による企業様のDXへの一歩前進支援

→**DXどうしたらいいのかよくわからない経営者の方のお役に立ちたい**

①ICTの知識をインプットして、貴社内にアウトプットしてもらおう

- 大前さんに学ぼう（7月、1月） **(会員無料)**
- BBT研修プログラム会員特典の利用に**DXリテラシー講座追加** **(会員割引あり)**

②DXへの道筋、事例、ツールを知って頂きたい

- 身近なデジタイゼーション（守りのデジタル化） **(会員限定)**
- 身近なデジタライゼーション（攻めのデジタル化） **(会員限定)**
- 身近なDX（デジタルトランスフォーメーション） **(会員限定)**

③全国地域のセミナーをオンラインで参加して頂きたい

- 北海道から九州まで全国組織という当協会ならではのセミナー **(会員無料)**

④ICT相談窓口の開設（まずはWebで）

- ベンダー、キャリアとの人脈をもつ当協会ならではの橋渡し **(会員限定)**

3、世の中に協会の存在・魅力を知ってもらい、絆を深めファンを増やす

→**どんな役にたてるのか、協会に入っているとなにが貴社の役に立つのか、わかりやすくタイムリーに発信する**

【お役立ち情報：新年最初はこの本をご紹介します。】

昨年年初には、「**収益多様化の戦略**」をご紹介しました。
何か皆さんのビジネスのヒントに役にたっていたら嬉しいです。
今年もお役にたちそうな本をご紹介します。
今年最初は、大前研一さんの「**世界の潮流 2022-23 スペシャル**」
をご紹介します。

この本は、昨年6月に出版された「**世界の潮流シリーズ**」の最新作です。緊迫するウクライナ情勢と今後の世界の行く末を考えるヒントがたくさんあります。地政学的リスクとかよく聞きますが、世界の政治・経済・産業動向はビジネスには必須ですね。

世界を震撼させているロシアによるウクライナ侵攻。もうすぐ1年になりますね。早く平和が戻って欲しいです。EU、アメリカ等の武器援助で形勢はウクライナに傾いていますね。昨年終盤からウクライナの攻勢でロシアは撤退しています。

ロシア国内でも反対が表にでてくるようになりロシアも泥沼に入っているようです。

亡命説も噂されるプーチン大統領ですが、今年は毎年恒例の国民との対話会を中止しました。この対話会では、プーチン大統領はこれまで丁寧に国民の質問に答えてきました。今年開催されないのは、質問に窮するところがあるからではと勝手に思います。国際世論の大半を敵に回し、厳しい経済制裁を受けているにもかかわらず、なぜプーチン大統領は、ウクライナ攻撃の手を緩めないのか。大前さんはプーチン大統領の頭の中をのぞいてきたとおっしゃっています。（^^）

今年の『**大前研一 世界の潮流 2022-23**』は、ロシアウォッチング歴50年を誇る大前研一さんが、日本のメディアが報じないウクライナ危機の真相を約50ページにわたって徹底分析するスペシャルエディションです。

年の初めに読んでいただくと、貴社のビジネスの参考になると思います。



主なテーマは以下のとおりです。

- ロシア** →日本のメディアが報じないウクライナ侵攻の背景と行く末
- 中国** →台湾への武力侵攻の可能性は低く、香港方式での実質統治戦略にシフト
- アメリカ** →根深いトランプ前大統領の後遺症
- EU** →「イギリスなきEU、メルケルなきEU」新時代に突入
- 日本** →コロナが浮き彫りにした“没落国家日本”

(目次)

- 序章 ウクライナ情勢が物語る、これからの時代の読み解き方
- 第1章 新型コロナからの回復と成長を模索する世界
- 第2章 コロナ化が加速させるビジネスの新潮流
- 第3章 国民国家の終焉と新しい世界経済
- 第4章 コロナが浮き彫りにした“没落国家日本”
- 第5章 2022年、日本はどうすればいいのか

<今年も原稿大募集します！>

あなたの知識や経験等が他の会員さんのお役に立てば、嬉しいです。
いつでも待ってま～す。写真等も大歓迎です。

送り先：f.kawabata@jtua.or.jp (川畑) までファイル (A4) を送ってください。

【会員紹介：新年最初のご紹介です。】



一般社団法人 国際 SDGs 推進協会

新年あけましておめでとうございます。

このたび、公益財団法人 日本電信電話ユーザー協会大阪支部に入会させていただきました。

一般社団法人 国際 SDGs 推進協会と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

当協会は、SDGs をベースに講座、アワード認定(国連 P.R.I.D.E 日本と連携)、目標 1,000 グループの SDGs ビジネスパートナーづくり(現在 70 グループ)、啓蒙活動、その他を行なっております。

活動等ににご興味のある方は遠慮なくご連絡ください。 一般社団法人 国際 SDGs 推進協会 理事長 土坂英一

協会へのお問合せは
<https://ispa-japan.com>



活動内容

SDGs 講座の開催

SDGs アドバイザー認定講座等 SDGs 関連の講座開催

12.19 9:30-18:00
SDGs Advisor Certification
SDGsアドバイザー講座
1日集中コース
SDGsは選定ではなく必須です

国連 P.R.I.D.E 日本アワード

国連 P.R.I.D.E 日本と連携した AWARD 認定

国連.P.R.I.D.E日本と連携事業
SDGsアワード
SDGs AWARD 2021

著名名誉理事

ジョブズ伝説出版/女優/調理師連盟会長/下町ロケットモデル等

協会名誉役員紹介

SDGs 国際アンバサダー

女性活躍を目的とした大使館領事館との連携事業

SDGs国際アンバサダー
大使館・領事館を対象に
特使として

女性活躍 SDGs WIP

SDGs 推進を目的とした女性 70名のグループ

SDGs女性会(働き方サポート)
WIP

協会セミナー/講師

協会開催のセミナーと協会が講師を務めたセミナー紹介

2022年度SDGsセミナーの開催&セミナー講師等

パートナーシップ 1,000

SDGs ベースのパートナーシップグループ1000グループ目標

1,000 SDGs Partner Sip Groups
協会ではSDGsパートナーシップ1000グループ目標!

寺社連携事業

寺社仏閣の SDGs 推進サポート事業

寺社連携事業
テライ

食まつり連携事業

「日本の食まつり」と連携した SDGs 食関連サポート

日本の食まつり
年間100万人動員

若者への SDGs 普及活動

ミレニウム世代、Z世代を対象とした SDGs 普及活動

SDGs地球防衛隊
若者を中心に自分たちの住む地球を守るためSDGsの大切さを伝える活動!

「SDGsトップ企業」講座

「SDGsトップ企業」を宣言するための取組のサポート

6ヶ月間「SDGsトップ企業」化計画
SDGsに取り組む取組まないは大違い!!

子ども SDGs サポーター

「子どもを SDGs マスター認定」で SDGs を理解

子どもたちの未来のために
子どもSDGsマスター
15才〜7才/28才〜10才

SDGs ビジネス、SDGs 事業直結の「SDGs パートナー 1,000」に参加しませんか!

一般社団法人 国際 SDGs 推進協会



<オンライン開催>

新年の初めはこのセミナーから

締切
間近

2023年新春特別企画

あの大前さんに

「2022年経済から見た今後の経済見通し」を学ぼう！

新型コロナ禍で難しい舵取りを迫られている経営者のみなさん、今年はインフレ、約32年ぶりの超ドル高・円安など経済は激しく動いていますね。

大前さんは2022年経済をどう総括されて、今後の経済はどうなると考えているのでしょうか。今後の経済見通し、気になりますね。

2022年を振り返り新年をスタートするにあたりゆっくり考えるいい機会です。
今後の事業経営のヒントは、このセミナーにあります。お見逃しなく。

(Web申込先) 募集人数 ~~500名~~(先着順)

好評につき追加募集中 1,000名

QRコードを
スマホで読み
こんでください。

お申込ページはこちらをクリックしてください。



【開催日時】 2023年1月12日(木)

14:00~16:20 (13:50接続可能)

【参加方法】 申込時にアクセスURLをメールにてお送りいたします。

※商工会議所等からのご紹介の方は、該当欄に
商工会議所等名を必ずご記入ください。

【参加費】 無 料

【主 催】 (公財)日本電信電話ユーザ協会

本部、東京、東海、近畿事業推進部(合同開催)

【共 催】 大阪商工会議所 西日本電信電話株式会社

東日本電信電話株式会社

【開催内容】 (14:00開演 16:20終了予定)

あのマッキンゼーの世界的名コンサルタント大前さんに

2022年経済から見た今後の経済見通し(仮題)を学ぼう！

<講師:大前研一氏(ビデオ)、丹羽亮介氏(マインドシーズSG代表)>



※お知り合いの経営者の方にもぜひご紹介ください。



(株)ビジネス・ブレイクスルー
代表取締役会長
大前 研一氏

【問い合わせ先】 近畿事業推進部 電話 06-6534-8615

セキュリティの最新情報も
アップデートできます。
支部HPにて絶賛募集中！

あの講話がこの価格で聞けるなんて。

ユーザ協会
限定特別価格

BBT研修プログラムはコチラから



撮影/大田真三(小学館)

この値段でこのパフォーマンスにびっくりです。

あの大前研一さん率いるBBTの研修がユーザ協会会員様特典として利用いただけるようになりました。

BBTのコンテンツの中から、協会会員様のために特に選びました。
「見て学ぶ」と「参加して学ぶ」があります。

見て学ぶ

ビジネス講義映像

ブロードバンド・ラーニング(BBL)

詳細・お申込みはこちら



<経営者講義 - 19 講座>

定価33,000円(税込)を当協会
会員様は**1割引29,700円(税込)**で
ご視聴いただけます。

どの講座も大前研一さんの講演以外に業界の最先端に行く経営者の
講演が盛りだくさん！ これからの経営のヒントがたくさんあります。

参加して学ぶ

詳細・お申込みはこちら

5,500円(税込)
でご視聴いただけます。



みんなで脳に汗をかこう！！

ビジネスアウトプットGYM

いつでも学べる動画で「インプット」し、
LIVEトレーニングで「アウトプット」

まるでスポーツジムに通う感覚で、
ビジネススキルをオンラインで鍛える

詳細はこちら！

<https://wstg-bbt.staging-bbt757.com/corporate/sd/063jtua/index.html>



<近畿 6 支部限定プレゼント>

新規ご入会様、既存会員様

本特典ご利用で「DX革命(大前研一著)」を
プレゼントいたします！

後日、連絡責任者様へ送付させていただきます。